

令和3年度第2回横浜市緑区民文化センター指定管理者選定評価委員会会議録

日 時	令和4年1月27日(木) 午後2時～午後4時
開催場所	緑区役所 4階4AB会議室
出席者 (50音順)	石田麻子 委員、井上敏正 委員、草加叔也 委員、 平山孝子 委員、本田義之 委員 緑区民文化センター 小野館長、辻村副館長、政本まち文化推進グループ長
欠席者	なし
開催形態	一部非公開(傍聴者なし)
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 定足数について 2 会議の公開・非公開について 3 行政評価の説明 4 指定管理者によるプレゼンテーション 5 質疑応答 6 評点の確定・講評
議 事	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員会の定足数の確認 (委員長) 過半数の委員の出席が認められるため、本委員会が成立していることを確認する。 2 会議の公開・非公開について (委員長) 会議の公開・非公開については第1回委員会にて、指定管理者のプレゼンテーションのみ公開と決定していたが、傍聴希望者はいなかった。 3 行政評価の説明 (事務局) 事前送付した評価表に基づき、提案時の「基本的方針(ビジョン・ミッション)の達成」にかかる評価(総合評価)については定性的に行い、評点は付けないことを改めて確認した上で、行政評価を説明した。 (委員) 以前よりも連携しやすくなっている。一方で文化支援パートナーについては、Webに掲載されてはいるが、その後の広がりが無いと感じる。また、施設とのやりとりの中で連絡体制に少し問題があるように思う。 (委員) コロナ禍のため難しいと思うが、ポスターやチラシの回覧依頼ばかりで、以前よりも連合自治会に顔を出す機会が少なくなった。もっと自治会への情報提供や意見交換が必要と思う。 4 指定管理者によるプレゼンテーション (指定管理者) 緑区民文化センター開館から令和3年12月までに実施した事業等についてのプレゼンテーションを実施。 5 質疑応答 (委員) 横浜市民ギャラリーあざみ野や、フィリアホールとの3館連携の他に、

緑公会堂との連携についてはどのように考えているか。

(指定管理者)

今後、緑公会堂と連携していく計画はあるが、まだ回答できる企画はない。来年度フィリアホールは天井工事があり、横浜市民ギャラリーあざみ野とは歴史をめぐるワークショップなどで連携する。区民にとっても文化芸術に触れる機会が増え、良いものを伝えられると考えている。

(委員)

施設からポスターや回覧の依頼が多くあるが、区民からは施設が何をしているのか分かわからないという声がある。脳トレ e スポーツ体験会など、せつかくよい企画をしているので、施設が力を入れている事業等は、連合自治会に出向いて説明するなど、もっと情報を提供してほしい。

(指定管理者)

初年度は長津田連合自治会へ参加させていただいたが、コロナ禍で思うように事業ができず、企画を強く紹介することができなかった。先日は老人会の会合に出席させていただき、高齢者の e スポーツ脳トレゲームの催しを紹介した。来年度からはホールが本格的に再開するので、ぜひとも伺わせていただきたい。

(委員)

プレゼンの内容を聞いて、ズーラシアンブラスなど、楽しそうな企画がたくさんある。一度来館してもらえると、アートパークにすごく良い企画があることを知ってもらえると思う。小中学校等へはチラシなどは配っているのか。近隣の小学校だけでなく、鴨居方面の小学校へも周知が必要と思う。

(指定管理者)

校長会ではお知らせをしたことがある。近隣の小学校や中山商店街へは、チラシを置かせていただいたこともある。鴨居方面へ周知については、今後の課題として考えている。

(委員)

プレゼンテーション資料に記載がある事業来場者アンケートの回答者は、50歳代以上が87%を占め、年齢層が偏っている。また、男性よりも女性の方が圧倒的に多くを占めている。年齢層や性別の偏りを施設としてどうとらえているのか。

(指定管理者)

脳トレ e スポーツ体験会などの高齢者向けの企画に加えて、ズーラシアンブラスのように比較的若者に人気のある企画も取り入れて、変えていきたいと考えている。また、男性に人気のある歴史講座などの企画なども増やしていきたいと考えている。

(委員)

プレゼンテーションの中で、ツイッター、フェイスブックはすでに実施しており、今後インスタグラムなどの発信も行うとのことだが、これらのメディアは即時性を重視するあまり、発信するスタッフに時間外の業務は

	<p>発生しないのか。他の施設などでは、担当者にかなり個人的なセンスや発信のタイミングなどが求められ、負担がかかっているという話もある。また、みどりアートパークが、インスタグラムで写真を通じた発信を行う強みはどのようなものか。</p> <p>(指定管理者)</p> <p>広報担当があり、主に紙媒体を担当している。ホームページやツイッターなどは、各事業担当が行っており、みんなで担当している。神奈川新聞の記者だった経験から、他の新聞社等のメディアが取り上げてもらいやすいようニュースリリースを作成している。働き方については、ほとんど残業はないし、SNSの発信に新聞やテレビのような即時性を求めている。CCTV（中国国営テレビ）がeスポーツ脳トレゲームを取材に来て取り上げたが、もともとは、記事を新聞に載せ、それがカナロコのニュースに載り、さらにヤフーニュースに掲載され、次第にネット上で広がり、CCTVの記者に取り上げられたという経緯がある。インターネット上での情報の循環が、今後人を引き寄せていくツールになるかもしれないと考えている。</p> <p>6 評点の確定・講評</p> <p>「令和3年度緑区民文化センター指定管理者業務評価報告書」に記載のとおり。</p>
<p>資料・ 特記事項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 横浜市緑区民文化センター指定管理者選定評価委員会名簿</p> <p>(2) 令和3年度第1回横浜市緑区民文化センター指定管理者選定評価委員会会議録</p> <p>(3) 令和3年度横浜市緑区民文化センター指定管理者業務評価方法</p> <p>(4) 令和3年度横浜市緑区民文化センター指定管理者業務評価表(案)</p> <p>(5) 横浜市区民文化センター条例・横浜市の保有する情報の公開に関する条例（抜粋）</p> <p>(6) 横浜市緑区民文化センター指定管理者選定評価委員会運営要綱</p> <p>2 特記事項</p> <p>なし</p>